

総務課

7 大木総第 376 号
令和 8 年 3 月 24 日

自主防災会長（区長） 各位

大木町長 広松 栄治
(総務課)

自主防災会における訓練等の実施について（お願い）

春暖の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から防災行政の推進につきまして、御理解、御協力を賜りお礼申し上げます。

町では、近年の激甚化する自然災害の状況を受け、行政が行う防災・減災対策と併せ、地域住民の皆さんの防災意識の向上と、自主防災会を中心とした地域の防災力を高めていくことが重要であると認識しており、今後地域の自主防災会を中心とした訓練等の支援を推進して参ります。

つきましては、自主防災会の訓練実施の推進を目的に、別紙「大木町自主防災組織等訓練プログラム」を作成し、自主防災会の活動支援を推進していきたいと考えておりますので、地域での訓練実施について御検討いただきますようお願いいたします。

問合せ先
総務課 消防防災係
TEL 0944-32-1035（直通）

大木町自主防災組織等訓練プログラム

訓練項目(内容等)			訓練レベル	心得コース	実技コース	避難実技コース	総合訓練コース
項目	内容	詳細	所要時間	概ね30分	概ね1時間	概ね2時間	概ね3時間
起こりうる災害	起こりうる自然災害	地域に起こりうる災害について	5分	○	○	○	○
	家族等の安否確認	家族、友人等の安否を確認する方法について	5分				○
	避難時の服装、持ち出し品	避難時の服装や非常持ち出し袋等について	10分	○	○	○	○
	地域での結束の大切さ	自助共助の必要性について	5分	○	○	○	○
	自然災害等のDVD	DVDで災害について学ぶ	30分				
	災害・想像力・ゲーム(DIG)	地図を使用し地域に起こる災害を理解し、必要な防災対策について参加者同士で議論する	120分				
				10分	10分	10分	15分
避難訓練	図上で危険箇所確認	地図等を利用し避難場所までの危険箇所を確認する	10分				○
	避難経路の確認	地域内の危険箇所を巡視する	30～60分				○
	地域住民の安否確認	連絡網等を利用し確認手段を確保する(エリア担当者が巡回、玄関等にタオル)	30～60分			○	○
	参集訓練	実際の災害を想定し避難場所まで避難する	30～60分			○	○
					30～45分	40～60分	
救出・救護	資機材での搬送訓練	車いす、担架、リヤカー、ボート等を活用した搬送訓練	20分			○	○
	簡易担架作成・搬送訓練	毛布等を使用して応急的な搬送要領、担架等作成方法の訓練	15分		○	○	○
				5分	10分	10分	
救急応急手当	出血、骨折等への対応方法	三角巾等を用いた応急的な対応方法の訓練	20分				○
	心肺蘇生法訓練	人工呼吸、胸骨圧迫(心臓マッサージ)等の訓練	30分		○	○	○
	AED訓練	AEDの利用方法(簡易版)訓練	20分		○	○	○
				30分	50分	100分	
避難所運営	避難誘導訓練	避難誘導における留意点等を確認する(車椅子、高齢者、視覚障害等)	30分			○	○
	避難所・運営・ゲーム(HUG)	避難所で起こる事象を意見交換をしながら避難所の運営に必要な対応を学ぶ	120分				
災害等の体験	地震体験	地震体験車に4名一組で乗車して疑似体験で学ぶ(20名以上)	30～60分				
	初期消火体験	地震等で発生した火災を想定して水消火器で消火する	15分	○	○	○	○
	煙体験	煙道又は部屋の一室による煙(無害)で火災時の視界不良の体験で学ぶ	20分				○
				5分	5分	10分	20分
災害対応心得	土のう作成方法・積み上げ訓練	大雨や台風の浸水被害に対応する土のう作成、積み土のう訓練	5～30分	○			○
	住警器・消火器の維持管理	目視による住宅用火災警報器の点検要領、電池交換時期について	5分	○	○	○	○
	避難の判断	避難レベルや気象・自治体情報(避難所開設等)について	5分	○	○	○	○
	災害情報の収集	テレビ・ラジオ・町の防災無線放送等について	5分	○	○	○	○
	防災への取組み	自助・共助・公助の必要性、緊急指定避難場所等について	10分				
				15分	10分	10分	25分

※ 要望に応じ自由に組み合わせ可能です。

※ お気軽に総務課までご相談ください。(電話:0944-32-1035 直通)